

令和4年度「県立学校による地域との協働推進事業」実施報告書

番号	⑧	学校名	明日香養護学校
----	---	-----	---------

1. 事業内容について

取組・活動・事業名等	明日香の地域発見プロジェクト<中学部>
教育課程上の位置付け・目標又は活動のねらい	中学部の総合的な学習の時間で実施。明日香の主要農産物であるいちご栽培を通じて、地域社会とどのようにつながれるかを探求する。
連携・協働相手	あすかいちご狩りパーク いちご栽培農家
地域と共有している目標・課題等	本校の児童生徒は、障がいによる様々な制約があり、実体験を伴う活動が限られるため、地域の協力を得て、活動、質問、振り返りを繰り返す活動を行うことを目標に実施。
取組・活動の内容（生徒の主体性、具体的活動、連携・協働内容など）	
<p>明日香村のいちご農家の方から、いちご栽培の方法等を指導してもらう活動を通じて、栽培方法だけでなく、自分たちの活動をどのように校内へ伝えていけばいいのか、さらには、実際のいちご栽培の様子を見るためにはどのような手順や準備が必要となるかを考え、質問し、実際に授業の中で、やってみる活動を行った。問いを考えられる生徒の数が限られるため、教員の考えた質問事項も参考に行った。また、校内への広報活動として、各自分担して壁新聞を作成したり、いちご栽培を通じて明日香村に対してどんなことができるかを考えたりすることができた。</p>	

2. 事業の成果と課題

<p>活動、質問、振り返りを繰り返すことで、興味・関心が高まるだけでなく、農家の方からの指導を生かして、次の活動を考え、自分の意見を伝えることができるようになってきた。例えば、いちごの生育記録を行い、記録に基づいてアドバイスをもらった方が、効果的な栽培につながることに気付いたり、自分たちが、農家の方にできることは何かを考えた結果、各自分担して農家のいちご畑に飾る立て看板を作成したりすることができた。次年度以降も、今回協力いただいた農家の方の意見も踏まえながら、どのように継続発展させていくかを考えていきたい。</p>
--

